

# 発芽

坪井勝男

妻が声を上げた

「あら 薯に芽が出ちゃったわ」

(芽が出てくるのは自然なことではないか)

暮に農道わきの小屋で買った甘藷

袋には六個入っていたらしい

すこし間を置いて 煮ていたという

ごろんと床におかれて

薯は何を考えていたのか

煮られる恐怖に怯えていたのだろうか

懸命に生きようとしている

この紡錘形のいのち

戯れに耳をあててみる

なにも聞こえはしない

けれど

「食うな」と抗議されたような気がする

結局マツチの頭ほどの芽をふたつ

とりあえず

ワイングラスに入れて養うという約束で

薯は煮られた

水養液に入れた若芽がぐんぐん伸びてくる

さて

これからどうしようか

ベランダあたりで育てようか――。